

吸収合併に係る事前開示書類

(会社法第 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 191 条に基づき備え置く書面)

2022 年 9 月 13 日

横浜市保土ヶ谷区星川二丁目 4 番 1 号

古河電池株式会社

代表取締役社長 小野 眞一

古河電池株式会社（以下、「当社」といいます。）は、エフビーパッケージ株式会社（以下、「FBP」といいます。）との間で、2022 年 11 月 1 日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、FBP を吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下、「本合併」といいます。）をいたします。

本合併に関する会社法第 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 191 条に定める事前開示事項は以下のとおりです。

1. 吸収合併契約の内容（会社法第 794 条第 1 項）
別紙 1 のとおりです。
2. 合併対価及びその割当ての相当性に関する事項（会社法施行規則第 191 条第 1 号）
当社は FBP の発行済株式の全てを所有しているため、本合併に際して、FBP の株主に対して株式、金銭その他財産の交付は行いません。
3. 本合併に係る新株予約権の定め相当性に関する事項（会社法施行規則第 191 条第 2 号）
該当事項はありません。
4. 吸収合併消滅会社である FBP に関する事項（会社法施行規則第 191 条第 3 号）
 - (1) 最終事業年度に係る計算書類等の内容
別紙 2 のとおりです。
 - (2) 最終事業年度の末日後の日を臨時決算日とする臨時計算書類等の内容
該当事項はありません。
 - (3) 最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容
該当事項はありません。

5. 吸収合併存続会社である当社における最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容（会社法施行規則第 191 条第 5 号）

該当事項はありません。

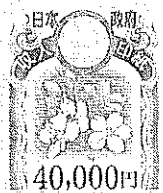
6. 本合併が効力を生ずる日以後における当社の債務の履行の見込みに関する事項（会社法施行規則第 191 条第 6 号）

当社の最終事業年度の末日（2022 年 3 月 31 日）現在の貸借対照表における資産の額は負債の額を上回っており、同日から本合併の効力発生日までの間に当社の債務の履行に支障を来す事象は生じておらず、また見込まれておりません。

また、本合併の効力発生日以後においてもそのような事象の発生は想定されておらず、引き続き当社の資産の額が負債の額を上回ることが見込まれております。

以上のことから、本合併の効力発生日以後における当社の債務について、その履行の見込みがあると判断しております。

以上



吸収合併契約書

古河電池株式会社（以下、「甲」という。）とエフビーパッケージ株式会社（以下、「乙」という。）とは、甲及び乙の合併に関して、以下のとおり吸収合併契約（以下、「本契約」という。）を締結する。

第1条（合併の方法）

甲及び乙は、本契約に定めるところにより、甲を吸収合併存続会社、乙を吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下、「本合併」という。）を行う。

第2条（商号及び住所）

本合併にかかる甲及び乙の商号及び住所は次の各号に定めるとおりである。

(1) 甲：吸収合併存続会社

商号：古河電池株式会社

住所：神奈川県横浜市保土ヶ谷区星川二丁目4番1号

(2) 乙：吸収合併消滅会社

商号：エフビーパッケージ株式会社

住所：福島県いわき市常磐下船尾町杭出作23番6号

第3条（効力発生日）

本合併がその効力を生ずる日（以下、「効力発生日」という。）は2022年11月1日とする。ただし、本合併の手続の進行その他の事由により必要があるときは、甲乙合意のうえ、効力発生日を変更することができる。

第4条（本合併に際して交付する金銭等）

乙の発行済株式の全部を甲が有しているため、本合併に際して甲は乙の株主に対し、その有する株式に代わる金銭等の交付を行わない。

第5条（甲の資本金等の額）

本合併に際して甲の資本金、資本準備金及び利益準備金の額は増加しない。

第6条（簡易合併及び略式合併）

1. 甲は、会社法第796条第2項本文に定める簡易合併の規定により、同法第795条第1項に定める株主総会の決議による本契約の承認を受けずに本合併を行う。
2. 乙は、会社法第784条第1項本文に定める略式合併の規定により、同法第783条第1項

に定める株主総会の決議による本契約の承認を受けずに本合併を行う。

第7条（従業員の処遇）

甲は、効力発生日において、乙の従業員を全員引き継ぐ。なお、当該従業員の処遇については、甲及び乙が協議の上、これを定める。

第8条（協議事項）

本契約に定めるもののほか、本合併に関して必要な事項は、本合併の趣旨に従い、甲乙協議のうえ決定する。

第9条（準拠法及び裁判管轄）

1. 本契約は日本法に準拠し、これに従って解釈されるものとする。
2. 本契約に関して生じた一切の争訟は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

本契約締結の証として、本書1通を作成し、甲乙記名押印のうえ、甲がその正本を、乙がその写しを保有するものとする。

2022年8月26日

神奈川県横浜市保土ヶ谷区星川二丁目4番1号

甲 古河電池株式会社

代表取締役社長 小野 眞一

福島県いわき市常磐下船尾町杭出作23番6号

乙 エフビーパッケージ株式会社

代表取締役社長 箱崎 守男

決 算 報 告 書

第 24 期

自 2021年 4月 1日
至 2022年 3月31日

エフビーパッケージ株式会社

いわき市常磐下船尾町杭出作23-6

貸借対照表

2022年 3月31日 現在

エフビーパッケージ株式会社

(単位:円)

資産の部

【流動資産】

現金及び預金	6,327,093
売掛金	39,567,750
未収入金	7,464,738
仮払金	111,600,675

流動資産計

164,960,256

【固定資産】

(有形固定資産)

建物	472,500
機械装置	300,000
車両運搬具	3,445,780
工具器具備品	1,800,400
リース車輛運搬具	22,986,000
リース車輛償却累計	△16,769,200
建物償却累計	△472,499
車輛運搬具償却累計	△2,692,018
工具器具備品償却累計	△1,735,158
機械装置原価償却累計額	△161,641

有形固定資産計

7,174,164

(無形固定資産)

ソフトウェア	48,000
--------	--------

無形固定資産計

48,000

(投資その他の資産)

長期繰延税金資産	12,881,977
----------	------------

投資その他の資産計

12,881,977

固定資産計

20,104,141

資産合計

185,064,397

負債の部

【流動負債】

未払法人税等	3,194,100
未払消費税等	9,154,300
未払費用	25,807,559
一年内リース債務	3,499,320
預り金	1,398,300
賞与引当金	20,914,000

流動負債計

63,967,579

【固定負債】

長期リース債務	3,501,820
---------	-----------

退職給付引当金	16,896,000	
固定負債計		20,397,820
負債合計		<u>84,365,399</u>

純資産の部

【株主資本】		
(資本金)	10,000,000	
(利益剰余金)		
[利益準備金]	1,494,000	
[その他の利益剰余金]		
繰越利益剰余金	89,204,998	
その他の利益剰余金計	<u>89,204,998</u>	
利益剰余金計	<u>90,698,998</u>	
株主資本計		<u>100,698,998</u>
純資産合計		<u>100,698,998</u>
負債純資産合計		<u>185,064,397</u>

損 益 計 算 書

自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月31日

エフビーパッケージ株式会社

(単位:円)

【売上高】

売	上	高							
				392,743,770					
			売上高計						392,743,770

【売上原価】

賃	金	給	与						
賞			与		214,083,226				
退	職	給	付	費	35,927,248				
法	定	福	利	費	2,535,800				
厚		生		費	42,634,236				
そ	の	他	勞	務	2,166,629				
賞	与	引	当	金	1,530,973				
外	注	加	工	費	20,914,000				
					22,463,102				

売上原価計 342,255,214

売上総利益 50,488,556

【販売費及び一般管理費】

営業利益

37,560,235

12,928,321

【営業外収益】

雑	収	入							
雑	利	子		617					
				330,862					

営業外収益計 331,479

経常利益 13,259,800

税引前当期純利益 13,259,800

法人税住民税及び事業税 6,324,300

法人税等調整額 △1,665,263

当期純利益 8,600,763

販売費及び一般管理費別表

自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月31日

エフビーパッケージ株式会社

(単位:円)

交	際	費			2,930	
通	信	費			166,169	
消	耗	品	費		6,708,298	
事	務	用	消	耗	品	139,470
修		繕			費	12,384,080
諸		会			費	8,000
支	払	保	險	料		294,710
減	価	償	却	費		501,854
り	一	ス	料			3,775,300
租	税	公	課			9,300
雑			費			1,950,730
業	務	委	託	費		1,801,886
定		期		代		4,170,785
少	額	消	耗	品		688,200
教	育	関	係	費		24,323
り	一	ス	償	却	費	4,934,200
						37,560,235
						販売費及び一般管理費計

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月31日

エフビーパッケージ株式会社

(単位:円)

【株主資本】		
(資本金)	当期首残高及び当期末残高	10,000,000
(利益剰余金)		
[利益準備金]	当期首残高及び当期末残高	1,494,000
[その他の利益剰余金]	当期首残高	80,604,235
	当期変動額 当期純利益(損失)	8,600,763
	当期末残高	89,204,998
利益剰余金計	当期首残高	82,098,235
	当期変動額	8,600,763
	当期末残高	90,698,998
株主資本計	当期首残高	92,098,235
	当期変動額	8,600,763
	当期末残高	100,698,998
純資産合計	当期首残高	92,098,235
	当期変動額	8,600,763
	当期末残高	100,698,998

個 別 注 記 表

自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月31日

エフビーパッケージ株式会社

第24期 事業報告書

自 2021年4月 1日

至 2022年3月31日

福島県いわき市常磐下船尾町杭出作23番6号
エフビーパッケージ株式会社

第24期事業報告書

自 2021年4月 1日
至 2022年3月31日

エフビーパッケージ株式会社
代表取締役 箱崎 守男

事業概要

2021年上期の実質GDPは、前期比年率▲3.0%のマイナス成長となり、年初からの足踏みが続く結果であった。コロナ感染再拡大と緊急事態宣言の再発出が個人消費を停滞させ、半導体不足などの供給制約に伴う生産の低下が輸出や設備投資を押し下げた。また国内では新規感染者数が急減し、ワクチンも普及したことから、10～12月期以降、サービス消費中心に個人消費は回復基調となるも、1-3月期はオミクロン変異株の感染拡大を背景に、成長が鈍化する。感染がピークアウトすれば、経済活動の正常化に伴う雇用・所得環境の改善に加え、コロナ危機下で積み上がった50兆円の過剰貯蓄が消費に回ることから、2年半ばにかけて高めの伸びとなる。また、ウクライナ情勢や台湾情勢など、どう動くか見通せない問題もあります。緊迫するウクライナ情勢により想定される日本経済への打撃は、まず原油価格の高騰で、過剰な物価上昇リスクも警戒されます。「起こらないこと」を予想するのではなく、「起きうること」を想定し、起きても大丈夫なように備えていくことが重要。

当社の2021年度は、自動車の新車向けが半導体不足により減産が継続しており予算比で79.4%、エフビーパッケージの新車向け売上が減少するも、市販向けが好調に推移し2021年度の総売上では予算比103%までカバーできたが、ラインの負荷バランス・工場間の負荷バランスが崩れいわき営業所では市販ラインを時差勤務等でフル稼働して対応、一方今市営業所の自動車Gラインは市販品の出荷も減り定時間操業の負荷となり今市自動車Gラインで、いわき品の梱包応援を実施し売り上げを効率よく伸ばすことが出来た。

総売り上げは、前期比△3.7百万(99.1%)の392.7百万円と対前年比で減収となりましたが、損益では前期比△3.3百万円(80.1%)の+13.3百万円となり対前年比では減収減益となりました。

2022年度は、感染力が強いオミクロン株が流行し、第6波は感染者数がピークを超えまん延防止等重点処置が解除されても感染者数は下がりきれてない状況が続く。このまま下がりきらないで第7波に繋がってしまわないか心配なところです。一方、不透明な状況化ではあるが、産業用蓄電池のシェア拡大、自動車用鉛蓄電池の増産・シェアUPの更なる拡大に向け期待致します。

更に、生産活動の効率化・経費削減を図り、株主である古河電池株式会社殿への利益還元を図っていく所存で御座います。

何卒、宜しくご支援ご鞭撻の程をお願い申し上げます。

以上

監査報告書

2022年4月26日

エフビパッケージ株式会社
代表取締役 箱崎 守男 殿

監査役 北村文男 印

2021年4月1日から2022年3月31日までの、第24期事業年度の監査結果を以下のとおり報告致します。

1. 監査の方法、およびその内容

取締役会に出席し、取締役等からその職務の執行状況について報告を受け、また必要に応じ決裁書類等を閲覧し、業務および財産の状況を調査し、当該事業年度にかかわる事業報告及びその付属明細書について検討しました。更に会計帳簿、又はこれに関する資料を調査し、当該事業年度にかかわる計算書類及びその付属明細書について検討しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ・ 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ・ 取締役の職務の執行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその付属明細書の監査結果

- ・ 計算書類、及びその付属明細書は、会社の財産及び損益の状況を重要な点において適正に表示しているものと認めます。

- ## 3. 株主総会に提出される議案につきまして調査しました結果、定款、法令に反すること無く、また著しく不当な事項が無いことを確認いたしました。

以上

